沼津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	保健体育Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	2022-221	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電気電子工学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員	佐藤 誠,渡邉 志保美		

到達目標

スポーツ実践を通じ、自らの能力に見合った目標を設定し、他者と協力して行動していく中で人間力の向上を図ることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 各種スポーツのルールを理解できる	各種スポーツのルールを理解し、実践できる。	各種スポーツのルールを理解できる	各種スポーツのルールを十分理解できない
評価項目2 仲間と協力できる	仲間と積極的に協力できる	仲間と協力できる	仲間と協力できない
評価項目3 安全面に配慮してスポーツを楽しむことができる	安全面に十分配慮してスポーツを楽しむことができる	安全面に配慮してスポーツを楽しむことができる	安全面に配慮してスポーツをすることができない

学科の到達目標項目との関係

【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5

教育方法等

概要	各スポーツ種目を教材として取り上げ、それぞれのスポーツ種目のルール、特性、特徴的な動きなどを理解し、個人や集団で実践していくことを通して、生涯にわたって継続的にスポーツを実践していく能力と姿勢、仲間と協力していく態度を養う。スポーツの実践を通じて人間力の向上を図る。
授業の進め方・方法	個人においては、各種目で学生の能力に応じた課題を設け、その獲得及び習熟度を向上させる。集団においては、それぞれのレベルにあったゲームの展開を自分たちでできるようにする。テキストは使用しないが必要に応じて資料を配布する。各種目の実技試験の成績（到達度）を６０%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力を４０%として評価する。６０点以上を合格とする。
注意点	

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	自分の体力や技能を考慮して、年間の計画を立てることができる。
		2週	ほぐしの運動・種目選択	自分の体力や技能の現状を理解することができる。
		3週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		4週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		5週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		6週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		7週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		8週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	2ndQ	9週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		10週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		11週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		12週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		13週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		14週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		15週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		2週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。

		3週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		4週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		5週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		6週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		7週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		8週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
	4thQ	9週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		10週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		11週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		12週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		13週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		14週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		15週	選択種目	仲間と協力して、安全にスポーツを実施することができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	前15
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	2	前15
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	前15
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	前15
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前15
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	前15
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	前15
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	前15
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	前15
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	前15
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	前15
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	前15
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	前15
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前15
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前15
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前15
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前15
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	2	前15
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	2	前15

評価割合

	試験６０	発表	相互評価	態度２０	ポートフォリオ	その他２０	合計
総合評価割合	60	0	0	20	0	20	100
基礎的能力	30	0	0	20	0	20	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0